

日刊バイオ@ひろしま

Vol.5 2015.8.23



有終の美を飾る 閉会式

結果発表を目前に張りつめた表情の選手や、大会中の疲れがたまっている選手が見られる中、最終日の4日目、閉会式並びに表彰式が行われた。始めに、広島大学の越智光夫学長から、「大会中の思い出や出会った仲間を大切に、考える力を養う努力を続けてほしい」と選手たちを激励する挨拶があった。

そして、待ちに待った成績発表。まず、金賞と銀賞のそれぞれ10名と銅賞の20名に、賞状とメダルが贈られた。続いて、様々な特別賞と総合成績上位5名の発表が行われた。その後、来年7月にベトナムで行われる国際生物学オリンピックの日本代表候補15名が発表された。表彰中は、選手たちから歓声とどよめきが起り、受賞者に惜しめない拍手が送られた。

最後に、JB0浅島誠委員長が、「今大会の試験と選手のレベルは着実に上がってきている。選手のこれからの飛躍に期待したい」と締めくくった。選手たちにとって、このひと夏の経験は大きな財産になったことだろう。今後も、選手たちの活躍に期待したい。

(執筆 千原佑太)



JB0浅島委員長と金賞受賞者たち

コメントの吹き出しについて

コメントの吹き出しの色は賞を表しています。

金賞・・・黄色
銀賞・・・グレー
銅賞・・・茶色

特別賞は割愛しています。



村上侑里夏



外山太郎



工藤幸将



濱崎海成



本堂楓馬

研究室訪問が楽しかった。あと10回くらいしたい！！

四度目の正直！！

高校の先輩に再会できて嬉しかった。解剖もしたかった。

いろいろな人と関わることができて良かったです。

どの先生も器具の高価さを強調してたのが面白かった。



田中愛登



宮崎優大



中桐悠一郎



早嶋一貴



池田亘孝

切片を作るのがものすごく難しかった。

初日は実験がなく苦戦したけど、全体を通して楽しかった。

試験は難しかったが、DNAトランプなどの交流が楽しかった。

陰キャラを貫き通しました(笑)

初めての生オリ、楽しかったです。



長谷川遼



松本篤弥



河野哲



室智大



西村鳴海



貝瀬宏隆



神立幸治



齋藤幸穂



三木快修



田中良来



宮本和英



江口彩花



佐藤紀風



岸本衛



松尾優作



伊藤佑真

楽しかった。でも、もっと実験をしたかった！

つくばの時より実験が論理的で頭を使って問題が変わったと感じた。

計算機が反応しませんでした(涙)

ゆるキャラグランプリはぐんまちゃんへ！

受験生がこんなやってえんか？ええんです！！

全力を尽くした！

生物好きなみんなとたくさん絡めてよかった。また会いましょう！

高橋先生の授業がとても面白かったです！

試験はできなかったけど、見学が楽しかったので来てよかった。

自分よりすごい人がいっぱいいた。解剖がなくてよかった。

自信のあった動物解剖の問題が出なかったことが残念でした。

中学生なのであと3回出たい。家や学校でできない体験ができた。

自分より賢い人に出会えて目標を作ることができました。感謝！

ストレス耐性がつきました！

他の選手もSCIBOの人も優しくて良かったです。

両生類研究所のカエルやコオロギが大人しくて印象に残りました。



瀬川和磨



山口涼



橋本峻我



田口 椋



山本凌大



東平征哉



山田康平



鶴巻碧衣



岩本凌明



藤尾則揮



渥美一哉



千代田創真



市川直樹



米原克磨



黒田澄哉



河村恒次

研究施設を生で見られて楽しかったです。大学で研究をしたいと思っているので良い刺激になりました。

いろんなキャラの人間と知り合えて面白かった！

周りの子がかしこすぎる！！

アミノ酸版手線ゲームですらすら答える人に圧倒されました。

電卓の小数点打つのチョーめんどかった！でも楽しかった！

マケマケみなみのかんむり座

みんな変人。超絶おもしろい！！

来てよかったです！(物理選択)

とてもすばらしい体験ができました。

いろんな人が来てて、違いもわかって楽しかった。

来年は来ないようにがんばったので、悔いが残らないように楽しみます！

解剖をもっとしたかったです！

今まで実験はあまり好きではなかったけど、好きになれた気がする。

みんなから、良い刺激をもらいました。

生物学オリンピックならではの特別な体験ができてよかった！

(そうか、みんなは僕が地球のために戦っていたことは知らないんだ...)…楽しかった！

選手みんなに、生物学オリンピックで一番印象に残ったことや感想を聞いてみました。



澁谷実央



小熊陽



中坪知輝



館内稟太郎



村山智哉



片石健太郎



竹村優太



山崎杏花



藤土竜司



茂木隆伸



菱田達太郎



西岡悠輝



橋本奈都美

いじられるSCIBOを見つけて楽しかった。試験は難しかった。

やっぱ生オリ最高！！

普通の学校ではできないような、話の合う人が多くてよかったです。

体験が楽しかった。銅賞とれたらいいな。

3日目に18才になりました。帰ったらツ〇ヤに行きます(笑)

参加できてよかったです！とても楽しかったです！

多彩な人が集まっていて面白かったです！

中三から予選で落ち続けてたから本選出てよかった。楽しかった。

全国から集まった生物好きと交流できて滅茶苦茶楽しかったです。

あまり見る機会のないダルマガエルが容姿が端麗で素敵でした。

みんなレベルが高くてついていくのに精一杯でした。

疲れたが、高校では絶対できないような経験ができて良かった。

1日目の問題は予想外だった。朝食が豪華でおいしかった！



磯野有希

虫の試験が出なくて良かった一。



光澤俊

とても疲れましたが、面白い体験を数多くできました。



小原嵩貴

いろいろな実験器具を使って学ぶことができて楽しかったです！



浜野彰太

あいふキャンベル。べりいべりいはっぴい。

裏面に続く！！

研究室紹介

長沼先生にとっての研究とは・・・

広島大学 生物圏科学研究科

長沼 毅

准教授

筑波大学出身(理学博士)

○文系の頭で研究をしている

私は高校3年生の途中まで、大学では哲学を勉強したいと考えていたので文系だった。生物も好きではなかった。しかしある日、生物の教科書の「生命の起源」の項目を読んで生命という抽象的な概念に興味を抱いた。それを機に進路を理系に変更して大学、大学院と生物系の研究科に進学した。私にとって理系とは数学で物事を考える学問である。そういった点では、私は頭の中で文系の考え方をもって、日々研究していると言えるだろう。

○研究で苦は感じない

私が研究を進めているときに一番楽しいと感じるのは、予想せぬ結果が生じたときである。自分なりに予想して、その予想通りの結果が出ても、それほど面白くはない。自分が考えもしなかった問題が他人ではなく、自分の中で浮かんでくるとき、面白いな、と思うのだ。逆に、研究に関することで苦に思うことはない。研究の過程で、厳しい環境でのフィールド調査を行う、結果が出ないなど、大変な時期もあるにはあるが、それも含めて研究、と割り切っている。大変で当たり前と考えている。

○当たり前のことを当たり前にやる

私の研究テーマはユニークだ。だからこそ、手法は至って普通の方法をとっている。つまり、「当たり前のことを当たり前にやる」ということだ。一見簡単のように思えるが、これが難しいのだ。「学習」とは文字通りに解釈すると、「真似て、習う」ものだ。既に出来ている正しい道を、正しく歩んだ者こそ、正しい道をこれから先作っていけるのだ。(執筆 林直人)



ちょっと聞いてみんさい

生物の小噺 ～ウイルスとバクテリア～

○右型アミノ酸を好むバクテリア

この地球には多種多様な生物が生息しているが、それらの分類は、よく系統樹という1本の樹に例えられる。実際、多くの人がこの地球上の生物は全てこの一本の樹に属していると信じている。そこで、長沼先生は本当にこの地球上には一本の樹に分類される生物しかいないのか？という疑問のもとに、別の樹に所属する生物を探している。その際、樹に所属するか、しないかの判断材料として、アミノ酸に着目している。アミノ酸には左型と右型の2類が存在し、地球上の生物は左型アミノ酸を摂取し、左型アミノ酸で体を構築する。そのため、右型アミノ酸で構成された生物は、一本の樹に分類されない新たな属性の生物だと言えるのではないかと長沼先生は考えた。この考え方は地球外生命体を探す、分類する上でも応用できる方法なので、そちらにも展開したいという。長沼先生は、この研究は長年やってきているが、右型アミノ酸で構成された生物には未だに出会っていない。しかし、右型アミノ酸を好んで摂取し、左型アミノ酸を与えたときよりも、より生育が良くなるバクテリアが見つかった。この生物は右型のアミノ酸を摂取し、それをそのまま使うのではなく、左型に変換して体を構成している。何故このような手間がかかるとも思える作業を行っているのか、実に不思議である。

○生物？非生物？

ウイルスというのはとても曖昧な存在である。細胞という、生物特有のものを持たない。しかし、自己増殖能力という非生物には出来ない機能を持っている。今までウイルスは、その大きさもゲノムサイズも生物のそれと比べて小さいものと認識されていた。ところが近年、大きさとゲノムサイズがバクテリアよりも大きいウイルスが確認され、大きさによる分類は出来なくなった。さらに、遺伝子データベースに該当しない、全く未知の遺伝子で構成されたウイルスも発見されており、注目されている。

生物の分類をする上で、ドメインという概念がある。今は3ドメイン説が主流で、真核生物ドメイン、真正細菌ドメイン、古細菌ドメインで分けられているが、ウイルスはこの3つに該当しない新たなドメインの生物になるかもしれない。

生物学というのは既に確立された学問と皆さんは考えているかもしれないが、実はここ数年でその根底を揺るがす大きな発見があった。まだまだ生物学には未知な部分が多く、興味が尽きない。

(執筆 林直人)

表面続き



尾西宏紀



野村晋ノ介



村上祐希



杉原翔吉

施設見学が楽しかった。来年も出れるように頑張ります！

計算疲れたああああああああ

研究室訪問で稚魚の耳石を取り出す実験が楽しかったです。

学校外で生物好きに会えたことと、いろいろ経験できたことが一番の収穫。



金光寧香



井上聡



保呂有珠暉

今まで出来なかった分今日は交流して帰ります！

研究室訪問での実験が楽しかったです。

本選楽しかったです。来年も頑張ってまた会いましょう！



中島怜奈



武田侑真



池田大翔

試験で考えるのが楽しかった。G2コースの顕微鏡がすごかった。

pmから光年まで、様々な単位に触れることができた！

心臓の握り心地がよかった。



西田結哉



野口颯真



阿坂玲

4日間楽しかった！来年も本選に行きたいです。

解けない問題があったけど普段体験できないことができて楽しかった。

生物にもっと興味が湧いて良い経験になりました！



村上凌太



大輪奏太郎



今木俊貴

いろいろな人と仲良くなれて楽しかったです。

生物の知識のすごい人たちがに囲まれていい経験になりました。

リコリス美味しい！



矢賀玲鵬



梅本大雅



望月祐希

今までで一番高級そうなホテルだった。トランプが楽しかった。

マケマケ、ハウメア

電卓めっちゃがんばった。解剖実験もしたかった。



川西修平



邊見和就

新聞最後

新聞を作っている時間は大変でした。ある人は天文台から戻ってきてから記事を書き、またある人はあちこちでしている先端研究室訪問の記事を取りまとめたり、慣れない執筆作業に苦しんだり、疲れ果てて気が狂ったような発言をしたり...。あ、気が狂ったような発言をしていたのは僕ですが、それはいつものことでした(笑)。

新聞SCIBOとかけた「新聞最後」という名の少しふざけた編集後記も、本当に「最後」になりました。新聞を読んだ皆さまに生物学オリンピックの様子伝わったり、生物学への興味がさらに高まったり、思い出に残るものであったならば、幸いです。

(執筆 野田順平)